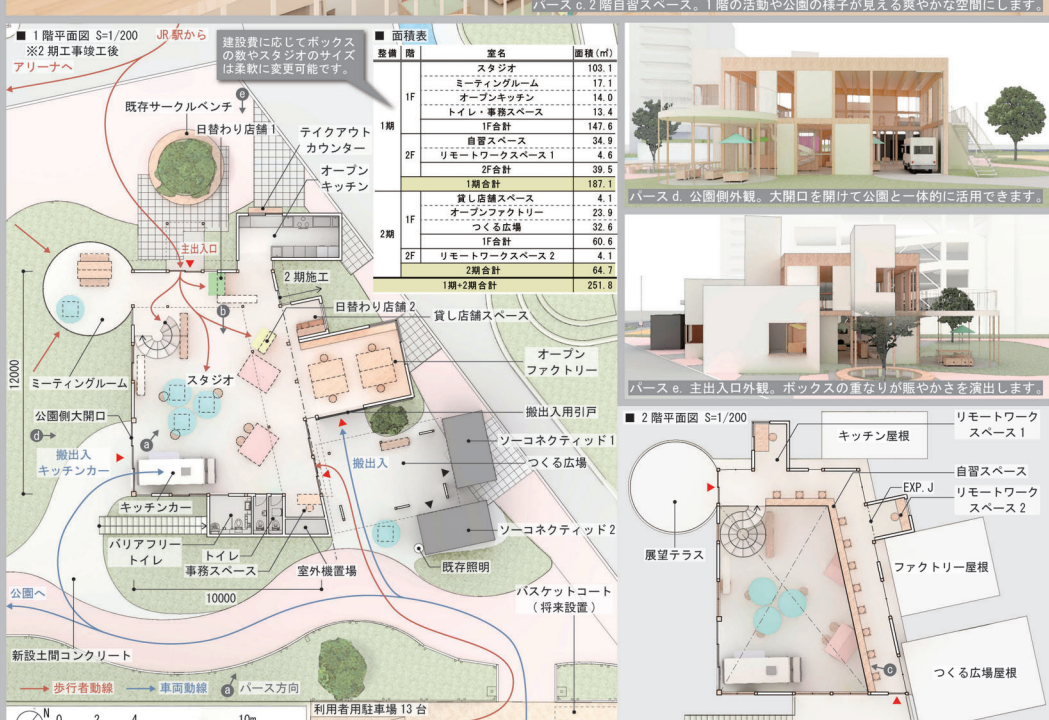
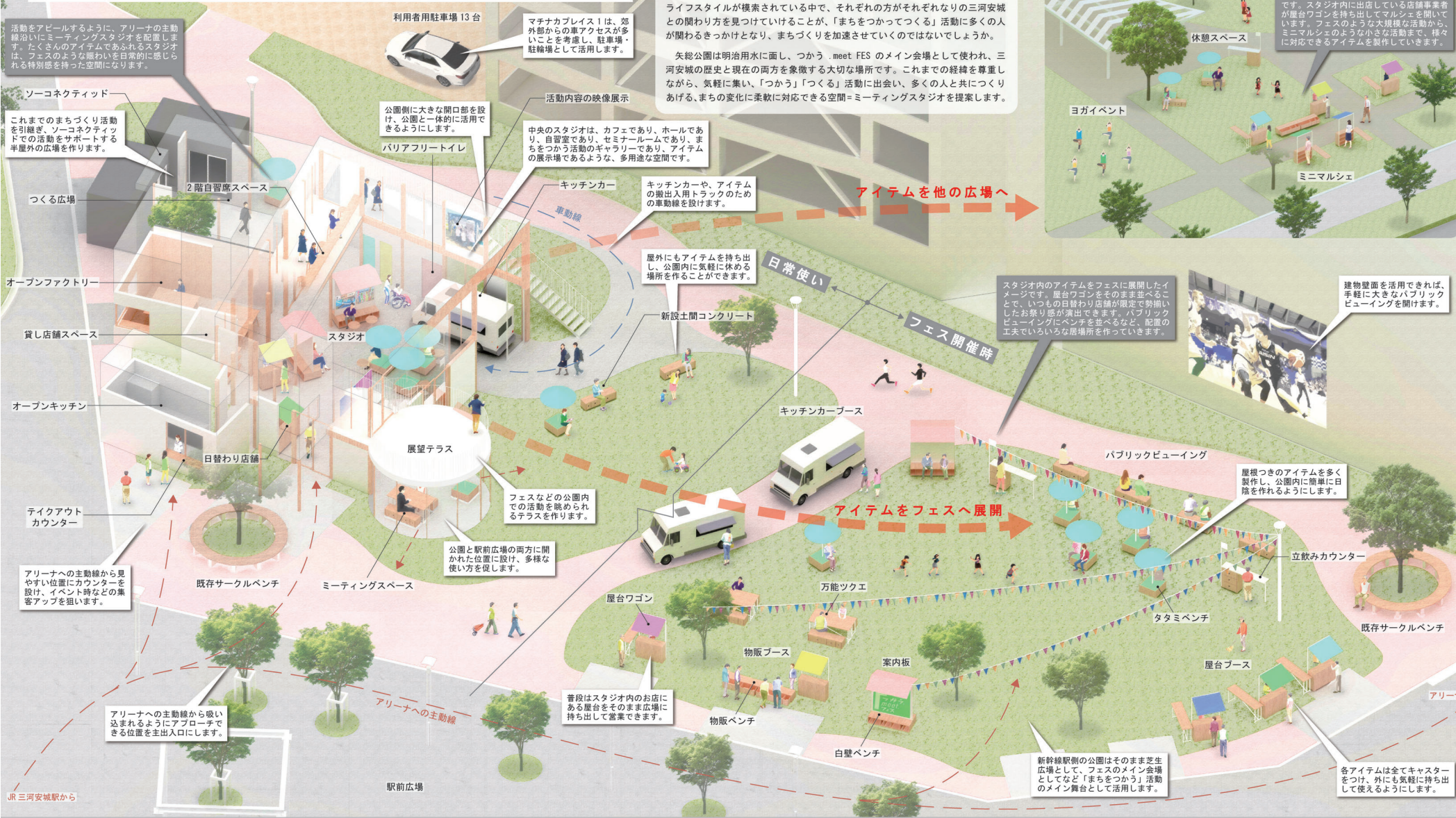


# 三河安城ミーティングスタジオ



## 三河安城ツインパークでの活用例



## ② コンセプトとその設定理由

### 1 三河安城駅前に必要なもの

三河安城周辺は明治用水による治水を軸とした大規模な耕地整理を元を発展してきたまちです。そのため、まちなかに近しい豊かな農地が広がり、郊外部にはゆったりとした敷地の活かしたハイセンスな店舗、デンパークなどの豊かな公園、安城農林学校をはじめとした学校群があります。こうした豊かな郊外とまちなかの関係を強めることに、新たな価値を生む可能性があると感じました。

また、オープンデータのアンケート結果から駅前に気軽に集える場が求められていることがわかります。スポーツやリニア開通といった新たな要素により、まちの様相も大きく変わっていくと予想されます。「まちをつかってくる」活動を進めるためには、こうした変化もポジティブに捉えていながら、郊外部を含む三河安城に関わるたくさんの人たちが、それぞれ異なる三河安城の関わり方を見つめられる、様々な関係性の結び目となる場所が必要なのではないでしょうか。したがって、以下の3つのコンセプトを持った空間を提案します。

- ・気軽に集い、様々な「つかう」と「つくる」に会える空間
- ・三河安城に関わるたくさんの人に支えられ、共につくる空間
- ・まちの変化に応じ、柔軟に対応できる可変性を備えた空間

このコンセプトを実現し、「まちをつかってくる」活動を支える拠点としての建物・ミーティングスタジオを提案します。



## ③ 機能実装のイメージと説明

### 2 ミーティングスタジオ

ミーティングスタジオは、以下の3つの機能を持つ建物です。

- A. 「集う」機能：日替わり店舗、自習スペース**  
1階に日替わり店舗、2階に自習スペースを設け、学生も含め誰でも気軽に訪れられる空間にします。日替わり店舗は郊外店舗からメインとしつつ、チャレンジ事業者として新規開業や副業の方も入って回していきます。先駆事業者からアドバイスももらいながら運営していくことで、まちの新たな「稼ぎ手」育成につながります。
- B. 「活動する」機能：オープンキッチン、オープンファクトリー**  
キッチン・ファクトリーともに、時間利用とオープン利用の両方に対応し、「まちをつかってくる」活動の拠点としての役割を担います。
- C. 「知る」機能：活動展示ギャラリー、アイテム展示場**  
「まちをつかってくる」活動を展示し、ハーフメイドな「まちをつかってくる」アイテムの展示場として空間全体を設えることで、訪れた人がまちづくり活動に興味・関心を持つきっかけを提供します。

これら3つの機能を無難なく複合し、相乗効果を生むことを狙って、ミーティングスタジオを以下の4つの要素で構成します。

- 1. スタジオ**  
中央の大きなホール、ボックス・モビルと連携し、アイテムの配置により様々な使い回しをします。
- 2. ボックス**  
スタジオ周囲の個室。使い勝手に応じ、サイズ・仕上りを最適化した空間にします。
- 3. モバイル**  
キッチンカーやソコネクティッドを用いて必要な機能の試験的・可変的運用を行います。
- 4. アイテム**  
日常以外にも様々な使い方ができるアソビを持った家具たちで空間をつくれます。外にも持ち出し、他の広場でも活用していきます。

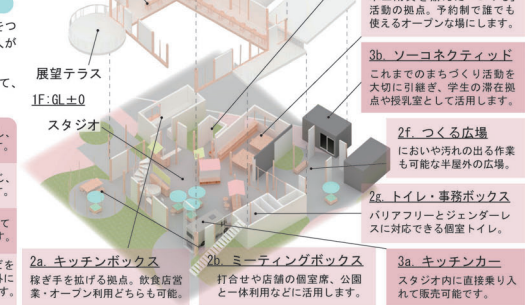
## ④ 設置・運営に係る基本的な考え方・計画

### 3 「まちをつかってくる」を加速させるために

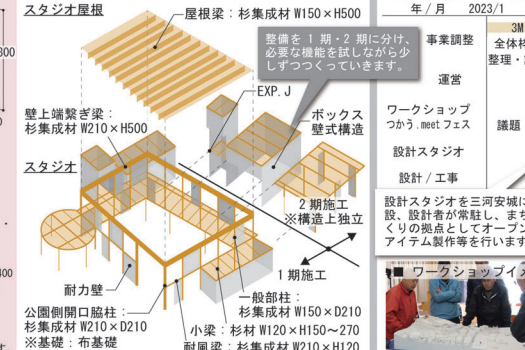
整備・運用を安定して進めていくために、3つの仕組みを提案します。

- 1. 公共出資・民間融資の合同会社による機動的な施設運営**  
施設運営を行う合同会社を市・民間の共同出資で設立します。金融機関からの融資と合わせて設立することで、市・民間の共同でリスクを分担しつつ、民間の機動性を活かしたまちづくり活動の加速を図ります。
- 2. 設計者が常駐し、アイテム製作も行う設計スタジオの設置**  
プロジェクト全体を整理し、設計業務を行いながら、アイテムを施設整備に先行して製作するまちづくりの拠点として、設計者が常駐する設計スタジオを三河安城駅周辺に設け、プロジェクトを進めていきます。
- 3. 試しながら少しずつつくっていく段階的な整備**  
整備を2期に分け、機能をモビリティによって試しながら整備していくことで、まちに必要な機能を見極め、確かなまちづくりにつなげます。

### ■ 整備・運用体制案



### ■ 構造計画



## ⑤ 3つのサイクルによるまちづくりの加速

3つのサイクルによるまちづくりの加速を図ります。

- サイクル① まちの稼ぎ手を広げる**  
3回のワークショップを行い、スタジオの構成要素を地域の方々と一緒に考えていきます。
- サイクル② まちの担い手を広げる**  
1年間の運用をもとに2期整備に必要な機能を考えることで、一歩ずつ確かなまちづくりを進めます。
- サイクル③ より高次の活動につなげる**  
2期整備の準備を進め、3期整備の準備を進めます。

